



## 情報処理学会 IoT行動変容学研究グループ 第二回研究会(BTI2)

- URL: <http://www.sig-bti.jp/> ・ Twitter: [@ipsjbti](https://twitter.com/ipsjbti)
- 日程: 2022年11月21日(月)13:15 ~ 22日(火)14:00
- オンサイト会場: 大和高原ボスコヴィラ(〒632-0251 奈良県奈良市針町3918)
- オンライン会場: zoom(参加者の方にメールでお知らせいたします)

### ◆ オンサイト会場での新型コロナウイルス感染症防止対策について

オンサイト会場(ボスコヴィラ)での新型コロナウイルス感染防止対策については、皆様の健康と安全のために下記の点についてご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

詳しくは <http://www.sig-bti.jp/event/bti-02.html> をご覧ください。

### ◆ 発表フォーマット

- 一般講演(7件)
  - 発表: 15分
  - 質疑: 9分 (+ 交代: 1分)
- スポンサー紹介(1件)
  - 発表: 15分 (質疑応答したい場合はこの時間の中で)
- デモ・ポスター(8件)
  - 前半・後半に分け、45分ずつ

## ◆ プログラム

### 1日目 ————— 11/21(月)

- 12:00頃 送迎バス(近鉄奈良発)
- 12:30- 受付
- 13:15-13:30 オープニングセッション
- 13:30-15:00 セッション1「日常生活と行動変容」(90min)
  - ライフログサービスにおける適応的プッシュ通知型情報提示と行動変容  
浜中 智己(慶應義塾大学), 坂本 一憲(WillBooster 株式会社), 佐々木 由樹, 水野 慎一郎, 土岡 由季, 川崎 康紀, 吉松 智美(株式会社リンクアンドコミュニケーション), 大越 匡(慶應義塾大学)
  - 遠隔調理活動に対する他者の気づきと声掛けの初期分析  
益田 岳(東京女子医科大学), 酒造 正樹(東京電機大学), 荒木 英夫(大阪工業大学)
  - 行動変容支援サービスにおけるユーザ保護と有用性を両立する重み付きε-差分プライバシーの提案  
藤本 隆晟, 中村 優吾, 荒川 豊(九州大学)
  - スポンサー紹介(AgileWare様)
- 15:00-15:15 休憩
- 15:15-16:45 デモ・ポスターセッション(90min)

#### 前半(グループA)

- 信頼ゲームにおける視線や他者の存在感が意思決定に与える影響の検討  
岸 駿斗, 橋浦 健太(明治大学), 犬飼 佳吾(明治学院大学), 渡邊 恵太(明治大学)
- **HydReminder-W** 生体情報を活用したスマートボトルキャップシステム  
元川 錦, 横窪 安奈, ロペズ ギヨーム(青山学院大学)
- ユーザアクティビティに応じた機能制限による **PC** 作業時の健康支援システム  
久保 彰悟, 田中 宏和, 中村 優吾, 荒川 豊(九州大学)
- 音楽を利用した社会的価値志向性測定のための検討  
山内 大河(富山県立大学), 山崎 悠大, 柏本 幸俊, 上坂 大輔(株式会社 KDDI 総合研究所), 岩本 健嗣(富山県立大学)

#### 後半(グループB)

- 伸縮センサを用いた呼吸センシングによる水泳パフォーマンス解析システムの提案  
近藤 亮介, 松田 裕貴, 諏訪 博彦, 安本 慶一(奈良先端科学技術大学院大学)
- 誘因と説得と集団随伴性を活用したハイブリット介入による行動変容の効果検証  
織 睦樹, 甲斐 貴一郎, 大園 咲奈, 中村 優吾, 荒川 豊(九州大学), 山崎 悠大, 曹 蓮, 柏本 幸俊, 上坂 大輔(株式会社 KDDI 総合研究所)
- 絵文字による感情の振り返りは **Well-being** の向上につながるか:スマートウォッチによる感情測定システムの実装  
渡邊 将太(立命館大学大学院), 松村 耕平, 岡藤 勇希(立命館大学), 沓澤 岳, 小林 吉之(産業技術総合研究所)
- フェムテックによる本人及び周辺の人々の行動変容支援に関する調査  
大園 咲奈, 中村 優吾, 荒川 豊(九州大学)

- 16:45-17:00 休憩
- 17:00-18:30 夕食
- 19:00-21:00 チュートリアル「行動分析学とIoT」(1.5-2.0hr)
  - チュートリアル概要  
行動分析学を専門とする研究者が、「行動」についての視点・価値観、行動の測定の仕方、データの取り方などについて対話形式で行うチュートリアルセッションです。
  - モデレータ
    - 是村 由佳(株式会社 コレムラ技研)
  - パネリスト
    - 黒田 敏数(ATR): **Why IoT?**
    - 大森 幹真(早稲田大学): **IoTって何を測っているの?**

## 2日目 ————— 11/22(火)

- 8:00-10:00 朝食・チェックアウト
- 9:30-11:15 セッション2「ナッジ・心理効果による行動変容」(105min)
  - **PC作業時のスマホ利用を抑制するコンテンツ制限手法の検討**  
田中 宏和, 中村 優吾, 荒川 豊(九州大学)
  - **向社会的行動促進に向けた心理プロセス調査とAIによる行動誘発・習慣化に向けた展望**  
柏本 幸俊, 曹 蓮, 山崎 悠大, 上坂 大輔(株式会社KDDI総合研究所)
  - **ナッジフレームを適用したCaptive Portalによるセキュリティリテラシー向上支援システムの検討と評価**  
松尾 周汰, 中村 優吾, 荒川 豊(九州大学)
  - **映画館チケット予約システムの上映回選択画面における混雑回避を目的としたナッジの効果について**  
鵜沼 亘, 間邊 哲也(埼玉大学)
- 11:15-11:30 休憩
- 11:30-12:00 インタラクティブセッション(30min)
  - テーマ  
切れ目ないIoT技術と行動変容の連携に向けて:ビニールハウスセンシングにおける農家の行動を題材として
  - セッション概要  
IoT技術によるさまざまな支援は、人にとって行動変容をもたらす。しかし、IoT技術の専門家にはこの行動変容を行動分析的に分析することは難しく、アンケート評価などに終わることも多い。一方で行動分析の専門家はIoT技術に精通していない場合が多く、IoT技術が行動分析、行動変容がどのように役に立つのか詳しくはない。そこでIoT技術によりビニールハウスをセンシングした実験において、データを示したり、研究者とデータを元にやり取りをしたことが、農家の方の行動にどのような影響を与えたかを元に行動分析学的な観点から解説を行い、連携に向けた第一歩としたい。
  - モデレータ
    - 岸野 泰恵(NTTコミュニケーション科学基礎研究所)
    - 是村 由佳(株式会社 コレムラ技研)
- 12:00-12:30 クロージングセッション(表彰等)
- 12:30-13:00 休憩
- 13:00-14:00 昼食
- 14:00- 送迎バス(ボスコヴィラ発)